

## 平成29年度 第3回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成29年7月18日(火) 10:00~12:00
- 2 開催場所 小平市中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 11名  
事務局 中央公民館長、館長補佐兼事業担当係長、管理担当係長、  
分館担当係長 9名
- 4 傍聴者 なし
- 5 配布資料 (1) 平成29年7月1日付 人事異動・・・資料1  
(2) 平成29年度 小平市公民館定期講座実施状況表・・・資料2  
(3) 平成29年度 小平市公民館まつり開催報告・・・資料3  
(4) 平成29年度 公民館事業企画委員会開催日程表・・・資料4  
(5) 平成29年度 東京都公民館連絡協議会 職員部会 報告・・・資料5  
(6) 平成29年度 東京都公民館連絡協議会 委員部会 報告・・・資料6  
(7) 平成29年度 第2回小平市公民館運営審議会 会議要録・・・資料7  
(8) 小平市の教育に関するアンケート調査報告書(抜粋)・・・資料8
- 6 次第 (1) 館長報告  
(2) 公民館定期講座実施状況について  
(3) 公民館まつり開催報告について  
(4) 講座のための意見交換会について  
(5) 公民館事業企画委員会等について  
(6) 東京都公民館連絡協議会 職員部会・委員部会報告について  
(7) その他

### 会議の概要

- 1 館長報告  
(1) 平成29年7月1日付の人事異動について  
資料1について報告した。

(2) 6月市議会定例会における一般質問及び総務委員会について

- ・「市は磁気ループを購入し、市として独自の聞こえのバリアフリーを確立しよう」

(吉瀬恵美子議員)

磁気ループの利用状況や、貸出システムの確立について。

(答弁) 公民館と地域センター等の利用状況については、平成27年度は17件、昨年度は9件の利用があった。本年度は現在のところ利用はまだない。

2点目の磁気ループの貸出システムの確立については、公民館登録団体が、公民館以外の市の公共施設での貸出を希望する場合は、利用団体に運搬や機器の設置等の慎重な取り扱いをお願いした上で貸出している。

- ・「公民館・地域センターの利用環境をよりよいものにしていこう」(吉本ゆうすけ議員)  
公民館利用者の声をどのように把握しているのか。また、利用者の声を参考に改善したこと、工夫してきたこと、施設内のトイレに付いているフックの位置について。

(答弁) 公民館では、部屋の利用終了時に利用者の方から利用報告書を提出してもらい、公民館に対するご意見ご要望等がある場合には、利用報告書に記入してもらうほか、定期利用団体との調整会議や利用者との意見交換会など広くご要望やご意見を聞く機会を設けている。

2点目の公民館利用者の声などを参考に改善、工夫したことについては、近年の例で言うと、食器の購入、音響設備の更新、畳の表替えなどの施設・設備の整備を行ったほか、鈴木公民館ロビーにBGMを流したり、小川西町公民館入り口のスペースの有効活用として談話コーナーを設置するなど、可能な限り利用者の意見を反映し、利用環境の改善に努めている。

3点目の公民館内のトイレに付いているフック位置の改善については、利用者の声を聞きながら、だれもが利用しやすい位置に取り付けるなど改善に努めていく。

- ・「防災等に資するWi-Fi環境の整備計画を小平市はどう考えるか」(永田政弘議員)

Wi-Fiの環境整備状況及び現状の考えについて。

(答弁) 現在、中央公民館、中央図書館及びなかまちテラスに整備しており、市民の多様な学習ニーズに対応し、利便性の向上や施設の利用促進につながる有効なサービスと考えている。

- ・5/16の総務委員会において平成29年度第2号補正予算の審査が行われた。

公民館ではオリンピック・パラリンピックへの関心・参加意識を高め、スポーツに対する関心を喚起するため、オリンピック参加国の文化を紹介する国際理解講座及び英会話講座、スポーツ・レクリエーション体験イベントを実施するための予算121万2千円を増額する補正予算案を提出し、審査の結果、全会一致で可決された。

(3) 中央公民館耐震補強工事に係る市民説明会について

前回5月の審議会では、6月中旬に開催予定と説明したが、競争入札が不調となり、工事請負事業者が決まっていないことから、市民説明会を延期していたが、8月に開催の目途が立ったため、改めて報告する。日程については、市報8月5日号に掲載予定だが、8月9日(水曜)夜・10日(木曜)午後・12日(土曜)午前と時間帯をずらし、土曜日にも開催することで、少しでも参加しやすい日程を設定した。

今回は、工事請負事業者も同席の上、詳細な工期や工法など具体的な内容を説明する。

(質疑応答)

委員 中央公民館の耐震補強工事の入札が不調だった理由は何か。

館長 入札が不調だった主な理由としては、煙突の撤去工事に係る費用である。今回は煙突の撤去について見直した。現在は、入札期間中でまだ決定はしていないが、来週末には決定する予定である。

委員 オリンピック・パラリンピック関連事業で補正予算として121万2千円が増額されたとのことだが、これは今年度中に執行されるのか。年度後半に向けて、内容を限定してオリンピック・パラリンピック関係の講座を行うということか。中央公民館だけで行うのか、分館も含めて公民館全体で実施するのか。

館長 補正予算のオリンピック・パラリンピック関連事業は、今年度中に実施する予定である。講座として、中央公民館では「国際理解講座」を10回連続で開催する予定である。分館は、花小金井北公民館、小川西町公民館、仲町公民館、大沼公民館において「英会話」講座を開催する予定である。

2 平成29年度公民館定期講座実施状況について

事務局より資料2について、各館より報告した。

(質疑応答)

**中央公民館に関して**

委員 小学生の学習支援ボランティア養成講座は、受講後に資格を与えるものか。また、学校とは連携しているのか。

事務局 資格を取れるものではないが、受講後に、手続きすることで「こどもパートナー認証」を受けることができる対象講座となっている。また、学校と直接連携している

わけではないが、受講者が小学校での学習支援につながっているケースがある。

委員 実際参加している子どもはどのような子どもか。

事務局 現在運営している友・遊学習支援室において、学校以外での学習機会が少ない子どもを対象に開催しているが、実際に参加している子どもは学習意欲の高い子どもが多い。

夏休み学習室については、公民館では、8月の部屋利用の需要が少ないということで8月1日から31日まで、中央公民館及び鈴木公民館を除く各分館で学習室を開放している。また、中央公民館では8月の4日間、小学生を対象に学習支援ボランティアが国語・算数の学習指導をする。また、小川西町公民館では、8月の3日間、小・中学生を対象に元小学校教諭などによる学習指導が行われている。鈴木公民館では、夏休み子どもの遊び場として1部屋を開放する。

委員 学習支援ボランティアの講座に参加する方には、学校で行われている放課後子ども教室なども紹介してほしい。

事務局 小学校の放課後子ども教室でも、学習を支援する場があることについて、受講者へ情報提供していきたい。

館長 公民館の場合は、学習指導という視点よりも一緒に考え、子どもに寄り添って学習習慣の定着を支援するなど、学習を通じた居場所づくりを考えている。放課後子ども教室での学習支援は、「教える」というスタンスがある。役割は違うが、ステップアップしたい方は地域学習支援課を通して紹介していきたい。

委員 「広げよう公民館活動」は、最低5回か7回のコースで実施する内容だと思う。内容はとても良くて本当は5回のところを2回で要約したような内容だった。各館の事業企画委員会の委員に初めてなった方からは、最初にこういう話しが聞けたら良かったとの声を聞いた。来年度以降開催する際には、2回ではなくもう少し回数を増やして早めの時期に実施してほしい。

学習支援ボランティアは夏休みに公民館で活動するとのことで、普段は学校の放課後子ども教室で学習指導している人達とうまくタイアップして地域学習支援課とも連絡を取り合えば、良い効果が出るのではないかと考えている。

事務局 連携についての参考意見として伺っておく。

委員 学校からの立場としては、それぞれの学校で補習教室のようなものは、水泳指導の時期に行っているが、8月は無いので、公民館で子ども達を受け入れてもらえることはいいと思う。

#### 分館に関して

委員 オリピックに向けてというが、英語だけでいいのか。英語だけで通じるのか。長期的にスパンを考えて各分館で実施することが、市民講座の力としては必要。もう少し視野を広げたらどうか。

館長 公民館で開催する英会話講座は、単なる英会話教室ではなく社会教育施設として、地域で活動するボランティアを育成するという考え方がある。今回は、「英語」を通じて、おもてなしマインドを学ぶ機会として開催する。今後、市民のニーズに応じて他の言語の講座も検討していきたい。まず外国の方から話しかけられた際に、気軽にコミュニケーションが図れる第一歩になればとの認識である。また、さらに継続して学びたい場合は、国際交流協会が主催している英会話や他の語学の講座につなげていくという流れを国際交流協会と連携しながら進めていく方向で事前調整をしている。

委員 全体的に講座名が素敵だと思った。仲町公民館の家庭教育講座「パパご飯！家族が喜ぶパパッとレシピ」の集まり状況があまりよくなかったとのことだが、受講者の年齢層がどれくらいか。また定員に満たなかった理由は何が考えられるのか。

分館長 年齢層で一番多いのは30歳代であり、30歳代半ば過ぎから一番上は51・2歳位の方が受講していた。理由については、できるだけ努力はしたが、ホームページ・チラシ・市報などあらゆる広報手段は尽くしたが、まだ手元に渡っていない、希望はしているのにまだ情報が入りこめていないところがあったのではと認識している。なかまちテラスは比較的若い夫婦や親子の来館者が多いので、見かけるとチラシの手渡しなどもしたが、数に反映できなかつたのが残念。さらにPR方法を工夫したい。

### 3 公民館まつり開催報告について

事務局より、資料3について説明した。

(質疑応答)

委員 上宿公民館まつりで土曜日の参加者が少なかったとの報告があったが、丁度運動会のシーズンだが、運動会などの行事は避けるようにしているのか。

分館長 上宿小学校は運動会ではなかった。しかし、まつりの日程は毎年度固定しているため、学校の行事と重なることもある。

会長 上宿公民館まつりの日曜日は、親子参加が大変多かった。

分館長 年々若い世代のお母さんが増えている気がする。

会長 何か工夫をしているのか。

分館長 声を掛けるようにはしている。普段日常的に公民館に来る親子連れには世間話から始めて、声掛けしてイベントの宣伝をしている。地域連携講座と連携してママフェスを開催したことの影響が大きいと考えられる。今年度のママフェスは9月に予定しているが、このイベントは地域の母親が主体的に活動しているイベントで今後、上宿公民館の目玉にしていきたい。

委員 ママフェスでは何をやるのか。

分館長 子ども向けや親子で楽しめるワークショップ、喫茶コーナー、手作り作品の展示を設けてどなたでも参加できるイベントである。

委員 運営しているのは公民館利用サークルか。

分館長 公民館利用サークルのほか、地域の方やシニア世代の公民館利用者の方にも手伝いで声を掛けたところ、子どもの見守りや、案内係に何人か手を挙げてくれている。イベントの運営を通じて、世代間交流が図られている。

#### 4. 講座のための意見交換会について

委員より感想及び報告があった。

委員 小川公民館は、28名が3グループに分かれて話し合いをした。3グループとも熱心に意見を交換して、内容の濃い場となった。

委員 津田公民館は、いろいろな意見が出て良かった。中央公民館は、館長が司会進行だった。4～5グループで作業をして良かった。

- 委員 大沼公民館は、親子で参加できるもの、体験できるもの、退職された男性を公民館に呼び込むもの、仲間づくりができるものなどの提案があった。仲間づくりを意識し、サークル化を目指すには、1～2回の回数では難しい。また、講座には、後で復習できるように資料がほしいとの意見もあった。
- 委員 上宿公民館は、参加者が少なかったのでさびしかった。前もって十分集められていなかった気がする。高齢者のための講座や保育付きの講座をとの声もあったが、参加者の層が偏っていた気がする。意見交換会の機能を果たしたのか、疑問を持った。もう少し各層からバランス良く10名以上出してもらいたい。
- 委員 花小金井南公民館は、印象としては大変うまくいっていると思う。地域や学校との関係もうまくいっていると聞いている。参加した皆さんの発言が自分の言葉で話しているのが印象的だった。「公民館に来るのが楽しい」との発言が1番の印象だった。公民館とシニアがどう関わっていけばいいかとのテーマに見事に答えが出ていた。課題を感じさせない、気持ちのいい意見交換会だった。
- 委員 花小金井北公民館は、参加された方の年齢層が高い気がするので、若い人の意見が聞きたかった。  
「地域の課題を考える地域のための公民館が自分たちの公民館、との意識が大事である」と話していた方がいて、とても心強かった。  
意見としては、中央公民館の講座に参加できないので、憲法講座や時事講座を分館でも開催してほしい。情報の発信方法を見直した方がいいのではないかと意見もあった。
- 委員 仲町公民館は、地域の自治会役員・事業企画委員など、参加メンバーは多様な立場の人がいてバランスが良かったと思う。意見としては、地域の課題（例 自治会組織率が低い・転入者が隣人となじめないなど）を公民館と一緒に共通の課題として、解決のきっかけになるようなことが企画できたらいいとの声があった。また、図書館との複合施設なので、図書館とコラボレーションにより何かいい講座の企画ができるのではないかと。また、受講後にサークルを立ち上げたが、その後の運営が難しい。職員がどう関わり支援するかが大事である。施設については、使いにくいところもあるが、利用者と一緒に考えていければと話しがあった。
- 委員 小川西町公民館は、高齢者が多かった。複合施設のため、集客力はあっても居場所がない。ゆったりのんびりできるコーナーがあってもいいのではないかと施設面での話しがあった。

5. 公民館事業企画委員会等について

委員より参加状況について説明した。

委員 先日の大沼公民館事業企画委員会に出席したが、企画案を絞り込む大事な時期に欠席者が多かったのは残念であった。企画案は、委員全員で検討したほうが良い。

会長 花小金井南公民館事業企画委員会は、地域の連携が良くて、出席している学校長も公民館の役割を理解して活発な意見を述べている。立地環境から、グリーンロードの活用、農家や施設など地域性を活用したもの、高齢者、多世代の居場所づくりなどの意見が出されている。

委員 事業企画委員として参加している方の意見として、目的や役割が具体的に分からず、委員会全体としての共通認識がされていないと伺った。全館の委員会全体としての交流の場があるといいのではないか。

委員 事業企画委員会に公民館運営審議会委員も参加して意見を述べていいのか。色々な人の意見が反映できるように、これからは幅広い意見を集約できるようにやらないと企画委員だけでは委員会が活性化しないと思う。

委員 全館で委員会の設置を進めているが、各委員の理解の度合いも違うと思う。ただ、この方々に研修とあって、委員会の他に集まってもらうのは難しいかも知れないが、情報交換を兼ねて一堂に集まってもらい、趣旨を伝えて、楽しく公民館を盛り上げる会を一度でも作ったほうが良いと思った。盛り上げていくための仕組みが必要だと思った。

館長 委員の方には、当初依頼をする際に事業企画委員会の趣旨や目的、役割を説明している。しかし、実際に参加してみると当初と違った状況が生じ、方向性が見えなくなることもある。引き続き、役員との事前調整を丁寧に行いながら、委員会全体で共通認識を図りながら運営していく。

他の館の状況や提案など参考になることもあるので、分館長は他館の委員会にも出席するようにしている。委員が定例の委員会のほか、別に集まるのは時間的に厳しいことから、今年度については、時間があれば他の館も様子を伺ったらどうかと声掛けをしていく。ある程度軌道に乗った段階では、各館の役員が集まり、情報共有の場も必要であると考えている。今年度はまだスタートしたばかりなので、課題を洗い出した上で次年度につなげていきたい。

会 長 始まったばかりなので、意見の集約をして次年度に反映できるようになればいいと思うので、よろしくお願いします。

6. 東京都公民館連絡協議会 職員部会・委員部会報告について  
事務局より資料5、委員より資料6について説明した。

7. その他  
小平市の教育に関するアンケート調査報告書（抜粋）  
事務局より資料8について説明した。

(質疑応答)

委 員 小中学生の利用が増えていることはいいことだと思う。データの見方だが、全国平均が低いので小平市の方が多いのではないか。また、質問の聞き方にしても、内閣府の調査だと、スポーツも全部並べて漏れがないようにしているので、同じように全部並べてどこかに印がつけばよしとした方がポイントが上がる。全国平均より少ないのではなく、アンケート上の性格によるもので自信を持った方がいい。もう1つは公民館を利用した期間について、これまでなのか、この1年間なのかで変わってくる。

次回は、9月19日（火）午後2時～中央公民館会議室にて開催する。